

五〇七 十二月二十九日 在中國林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

陳財政總長久原代表間ノ制錢製鍊ニ関スル商
議不調及興亜公司ヨリ陳總長ニ抗弁書提出ニ
付報告ノ件

別 電 同日林公使發本野外務大臣宛電報第一一八六号
財政部及保利公司間借款契約並鍊銅契約ノ要旨
第一一八五号

往電第一一二四号ニ関シ抗弁書ハ其後早速提出シ次テ本使
ヨリ陳錦濤ニ対シ鍊銅問題ニ付妥協方ヲ勸告スル手筈ナリ
シ処先般商議ノ折合付キ兼ネタルハ陳カ久原代表者ニ対シ
段總理ニ於テハ同代表者ニ於テ尚強硬ト認ムル陳ノ案ニ対
シテスラ軟説トシテ不同意ヲ唱フル旨ヲ伝ヘタルニ依ルモ
ノナルヲ以テ念ノ為メ同代表者ヨリ坂西ノ手ヲ經テ陸軍次
長ニ依頼シ段ノ意嚮ヲ確メタル処段ハ陳ニ対シ可否何レト
モ明言シタル次第ニアラスシテ陳ノ所言信用シ難キ節アル
コトヲ発見シタル為更ニ同次長ヲ經テ支那側ノ内情ヲ探ル
ノ必要生シ其結果右内探終了ノ節迄抗弁書ノ提出ヲ見合セ
度キ旨申出テタルニ付承認ヲ与ヘ置キタル処右内探中同次
長ヨリ財政部ニ於テハ全国商務總會ヨリ政府ニ五百萬元ヲ

陳カ一方ニ保利公司トノ話ヲ進メツ、アリタル以上仮令數
日間早メニ右勸告ヲナシタルニセヨ同シク何等効果ナカリ
シハ明白ナリ右ノ次第ニ付今日ニ於テハ鍊銅問題ハ結局之
ヲ断念シタル上陳ニ対シテハ抗弁書ヲ楯トシテ嚴重談判ヲ
遂ケ先方ニ於テ飽ク迄興亜ノ担保權ヲ認メサルニ於テハ速
ニ鍊銅事業ニ代ルヘキ他ノ適當ナル事業ヲ提供セシムル様
交渉ヲ試ミルヨリ致方ナシト思考ス將又保利公司ニ関シテ
ハ尚詳細ノ事項ヲ承知セサルモ商務總會側ニ於テ別電ニ契
約締結ノ為メ便宜之ヲ設ケタルモノニ相違ナク且同公司ト
シテハ一千万元ノ巨額ヲ融通シ得ヘキ筈モ之レ無キニ付畢
竟陳ノ細工ト認ムルノ外ナカルヘシト思考ス尚新聞紙ニヨ
リ發表セラレタル財政部ト同公司トノ借款契約及鍊銅契約
ハ委細郵報スヘキモ要旨ハ別電一一八六号ノ通り

(別 電)

十二月二十九日林公使發本野外務大臣宛電報
財政部及保利公司間借款契約並鍊銅契約ノ要旨

第一一八六号

(-)財政部保利公司トノ借款契約要旨左ノ通

本部ハ公司ヨリ五百萬元ヲ借入ル借款手取九十四、利子
六 对中国借款關係雜件 (二) 五〇八

貸シ上ケ其代償トシテ鍊銅事業ヲ引キ受クルノ計画ヲ詮議
中ナル趣ヲ承知シ久原代表者ニ於テモ此ノ上遷延シ難キモ
ノト認メ則チ十二月二十七日興亜公司代表者ノ資格ヲ以テ
遂ニ抗弁書ヲ先方ニ送付シタリ次テ同日本使ハ船津ヲ財政
次長ニ遣ハシ妥協ノ勸告ヲナサシメタル処同次長ハ既ニ財
政部ト保利公司ナルモノトノ間ニ借款契約並ニ鍊銅契約締
結セラレ久原トノ商議ヲ要セサルニ至リタル旨ヲ申出テ妥
協ノ勸告モ無効ニ終リタル次第ナルカ熟ラ前後ノ成行ヲ顧
ミルニ陳ニ於テハ最初ヨリ誠意ナク久原トノ交渉ヲ故意ニ
行詰ラシメタル上保利公司ヨリ五百萬元ヲ借受ケ其代償ト
シテ同公司ニ鍊銅事業ヲ受負ハシメタルモノニシテ少クモ
德義上不信ノ所為タル事勿論ナリ本使ニ於テハ陳ニ対シ久
原トノ間ニ於ケル鍊銅ノ商議ニ関シ可成互讓ノ精神ヲ以テ
妥協ヲ遂クル様勸告スル所存ナリシモ抗弁書提出前ニ勸告
ヲ試ミ先方ニ於テ之ヲ容レサル場合ニ抗弁書ヲ提出スル事
ハ彼我ノ間ニ於ケル溝渠ヲシテ益々大ナラシメ再ヒ話合ヲ
ナシ難キ羽目トナルノ虞アルヲ以テ特ニ抗弁書提出後トナ
シタル処久原代表ヨリ抗弁書ノ提出方追々遷延シタル為右
勸告モ從テ遷延シタル次第ナルカ今ニ至リテ之ヲ考フルニ

六分契約調印ノ日ヨリ十五日以内ニ二百五十萬元後十五日
以内ニ百万元後一ヶ月以内ニ二百二十五萬元後一ヶ月以内
ニ二百二十五萬元ヲ交付ス、担保、国庫債券、期限四年、
国会通過ノ日ヨリ効力ヲ生ス

(-)財政部保利公司トノ鍊銅契約要旨左ノ通

本部ハ本公司ニ国内ノ制錢ヲ收鍊スルノ權利ヲ特許ス、
期限四年、鍊銅ノ資本五百萬元トス鍊銅ノ利益ハ一切ノ
支出ヲ引去リテ之ヲ十五分シ本部ハ五分ヲ得ベク收錢ノ
各省ハ三分ヲ得本公司ハ七分ヲ得ルコト本公司ニ督辦一
名ヲ置キ公司一切ノ事宜ヲ監督稽查セシム董事七人乃至
九人ヲ設ケ其内二人ハ本部ヨリ選派シ其他ハ公司株主ヨ
リ公舉ス、国会通過ノ日ヨリ効力ヲ生ス

二 交通銀行借款

五〇八 五月二十一日 石井外務大臣ヨリ
在中國日置公使宛(電報)

交通銀行ヲ日中合辦トナシタキ旨ノ同銀行總
理梁士詒申出ニ関シ問合ノ件

第一七二号

貴地大倉組河野ヨリ五月十九日本店宛(交通銀行ハ紙幣発行權利及交通部ニ属スル官金取扱ノ權利ハ一切従来ノ儘トシテ同銀行ヲ日支合弁トナシタキ旨梁士詒ヨリ申出アリ日支經濟上大關係ヲ及ボスモノナル故河野ハ個人トシテ同意シ置キタルガ本件ハ現在交通銀行ノ救済ヲ意味セス将来ノ事ナレハ日本政府ニ於テモ必ス進ンデ同意スルナラント思考ス又南昌杭州間ノ鉄道モ許可スル意嚮ニテ其代表者ハ施督辦ト共ニ日本ヘ行キ度シトノコトナルガ如何ニ取計フヘキカ云々)ト電報シ来レリ右ハ河野ヨリ貴官ヘモ話済ノ趣ナル処(一)電文簡ニシテ事態不明ニ付詳細ノ事情(二)此際袁政府ニ多少共金銭上ノ利益ヲ与フル様ノ処置ハ当方ノ好マザル処ナルカ梁ノミヲ利セシメテ本件計画ヲ事實遂行ノ見込アリヤ(三)当方ニ於テ不同意ヲ表ストセバ他国ニ申込ム様ノ意嚮ナリヤ等ノ点承知シ度ニ付御調査ノ上至急電報アリタシ

五〇九 五月二十二日

在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

交通銀行日中含辦ノ提案ニ関スル梁士詒ノ所

交通銀行ヲ日支合辦トスルコトニ付支那側ヨリ提議シタル場合ニハ日本資本家ニテ之ニ応スルモノアルヤ否ヤ問ヒタルニ依リ船津ハ右ハ日本側ニテ之ニ応スルトシテモ政府ト特別ノ關係アル同銀行ノコトナレバ支那側官民ノ意見ヲ纏ムルコト果シテ出来得ヘキモノナルヤト反問シタルニ周ハ交通銀行ノ重役及有力ナル株主ハ過半自分等同志ノ者ナレハ其ノ実行必スシモ不可能ニアラズト答ヘタル由其後河野ヨリモ支那側ヨリ同様ノ内談ヲ受ケタル旨小幡ヘ内報アリタルニ付五月十九日船津ガ別用ヲ以テ梁士詒ヲ往訪シタル際梁ガ交通銀行ノ總理タル關係上前記周自齊申出ノ動機カ果シテ那邊ニ在ルヤヲ探ラシムル為右ノ如キ計画ガ果シテ問題トナリ居ルヤ又誰ノ提案ナルヤト尋ネタル処梁ハ別に誰ノ発意ト云フ訳ニアラス要スルニ自分等同志間ニ偶然持上リタル迄ナリト答ヘ且日本ニテハ嘗テ日支銀行設立ノ計画アリシモ議會ニテ通過セザリシ為不成立ニ終リタル模様ナルカ日支兩國經濟上ノ連絡ヲ計ルニハ是非トモ兩國合辦ノ金融機關ナルヘカラス幸ヒ我交通銀行ハ民立ナルヲ以テ之ヲ日支合辦ノ銀行トスルコトハ左程困難ニアラズ本銀行ハ資本金一千万弗払込五百万弗ノ内政府ノ持株二百万

存ニ付報告ノ件

第四五五号

貴電第一七二号ノ件ハ河野ヨリ話アリタルモ梁ガ此際斯様ノ提議ヲ為ス動機ノ明カナルニアラザレハ考慮ヲ加フル価値アルヤ否ヤモ決定シ難キニ付今一応充分ニ梁等ノ所存ヲ突止メ報道スヘキ旨申聞ケ置キタル儘河野ヨリ未タ詳報ニ接セス然ルニ往電第四五七号ニテ報告ノ通り梁等ノ考ハ全然之ニテ日本ヨリ袁擁護ヲ期待シ居ル次第ナルコト明白ナリ又貴電末段ニ関シテハ河野ノ見ル処ニテハ我方ニ於テ承諾セストモ他国筋ニ申込ム様ノ事万ナカルヘシトノコトナリ河野ハ近日更ニ梁等ト会見ノ筈ニ付是等ノ点ハ今少シ明瞭トナル筈ナリ

五一〇 五月二十二日

在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)交通銀行日中含辦及日本ノ对中国政策ニ関シ
同銀行總理梁士詒ノ船津ニ対スル談話報告ノ

件

第四五七号

五六日前船津カ別用ヲ以テ周自齊ヲ往訪シタル処其際周ハ

弗アルモ同銀行ヨリ政府ヘ貸付ケ居ル金額ハ無慮七百万弗ニ達シ居ル故日支合辦トスル場合ニハ右政府ノ持株ヲ全部日本ニテ引受クルカ或ハ払込ヲ一千万トシ日支各其ノ半ヲ引受クルカ其辺ハ何レトモ日本資本家ノ都合好キ様取計ヒ又總理重役等行員ノ割合其他ノ細目ハ双方協議ノ上可然ク取極メ差支ナカルヘシト述ヘタルニヨリ船津ハ更ニ同銀行ハ民立銀行トハ云ヘ交通部所管ノ特別會計ニ属スル国库ノ收入年額約七千万弗ヲ取扱ヒ又中国銀行支店ノ設ナキ地方ニテハ金庫事務ヲモ取扱ヒ殆ント中国銀行ト大差ナキ特權ヲ有スル半官半民ノ銀行ナルカ一旦中日合辦ノ純然タル民立銀行トナラハ右等ノ特權ハ自然消滅スルニ至ルヘシ如何ト尋ネタル処梁ハ事理ヨリ推セバ当然斯クノ如クナルヘキモ自分トシテ衰ト行動ヲ共ニスル以上衰ノ勢力ヲ利用シテ右ノ如キ特權ハ依然交通銀行ヲシテ享有セシムルコトヲ得ル確信アリ併シ之ニ反シ一旦衰ト分離スレハ何事モ成功ノ見込ナシ元来日支ノ親善ハ如何ニ筆舌ヲ以テ鼓吹スルモ之ヲ実現セシムルコト甚ダ困難ナリ之ヲ實際ニ実行スルヲ以テ捷徑ナリト信ジ自分等ハ目下日本ノ某資本家ト二三ノ事業ヲ計画中ナリ(此ノ資本約二千万弗金ニ達ス)遠カラ

ズ具体的ニ發表スルコトヲ得ルナラント存ス併シ之等事業モ自分カ一朝衰ノ勢力ト分離セハ忽チ苦境ニ陥ルノ虞アリ故ニ今後大ニ日支間經濟上ノ連絡ヲ計ラントセハ何処迄モ衰ノ勢力ヲ利用スルヲ以テ得策ナリト確信ス苟モ自分カ衰ト行動ヲ共ニスル以上交通銀行ノ日支合辦ハ愚カ嘗テ日支交渉ノ際提出セラレタル第五項中ノ漢冶萍合辦ノ如キハ勿論南支鐵道布設權ノ如キモ第三國ノ反對ナキ限り之ヲ實現スルコト左程困難ニアラサルヘシ其他電話借款(之ハ既ニ申込ミタリ)ノ如キ或ハ日本ノ力ヲ藉リテ招商局ノ改善ヲ計ルカ如キ日支ノ經濟關係ヲ密接ナラシムル幾多有利ノ事業ハ陸續實現セシムルコト必スシモ難事ニアラサルヘキカト考ヘラル但シ之等經濟的合辦事業ハ表面飽迄兩國資本家当事者間ニテ之ヲ協議決定スルコトトセサルヘカラズ而シテ政府ハ絕對ニ其背後ニ在リテ監視援助ノ態度ニ出テ以テ成ルヘク反對派ノ非難及諸外國ノ疑惑ト妨害トヲ惹起セサル様心掛ケルコト肝要ナリ日本人ノ多数カ衰ハ日本ニ對シ好感ヲ有シ居ラスト信ジ居ルハ当レリ併シ單ニ感情上ヨリスレバ日本ニ對シ好感ヲ有シ居ラサルモノ豈独リ衰ノミナランヤ自分ヲ初メ苟モ常識アル我國民何レモ皆然ラザルナ

ノ郷里長沙ニ於テサヘ其ノ名声ハ「ゼロ」ナリ孫文ノ廣東ニ於ケル名声トテ略ホ同様ナリ梁啓超ノ如キ元是筆舌ノ人ニシテ事ヲナスノ人ニアラス又今日日本ニ對シ好感ヲ表シ居ル如キモ客年日支交渉ノ際ニ於ケル彼ノ言動ハ如何ナリシヤ其ノ信賴スルニ足ル人物ナルヤ否ヤハ疑問ナリ其他岑春煊ト云ヒ蔡鍔ト云ヒ竜濟光ト云ヒ將又唐紹儀ト云ヒ各々一長一短アリテ彼等過去ノ經歷ト性格ヲ仔細ニ觀察セバ前述有利ナル事業中ノ一サヘモ果シテ之ヲ遂行シ得ル手腕胆力アリヤ否ヤ大ナル疑問ナリ況ヤ此等ノ人物ト提携シテ支那ニ於ケル優越ナル地位ヲ獲得センコトハ一層ノ難事ナランカ今日衰ノ威望ハ著シク失墜シ又昔日ノ如クナラサルモ之ヲ南方ノ諸領袖ニ比スレハ對内對外トモ今尚巍然一頭地ヲ抽キ居ルコトハ余ノ深ク信シテ疑ハサル所ナリ故ニ日本ニシテ真実支那ニ向テ其ノ勢力ヲ發展セント欲セハ此際速ニ對支方針ヲ一變シ衰ノ勢力ヲ利用スルノ策ヲ講スヘシ之勞少ナクシテ効多キ唯一ノ捷徑ナリト而シテ今ハ之ヲ実行スルニ絶好ノ機會ナリト思惟ス若シ日本当局者ニシテ遲疑逡巡此好機ヲ逸セハ遂ニ千歳ノ悔ヲ遺スニ至ラン之レ只ニ兩國ノ不幸ノミニアラス実ニ東洋大局ノ不幸ナリト述ヘ最

シ蓋シ從來日本ノ支那ニ對スル態度ヨリ論スレバ我國民ガ好感ヲ有セサルハ当然ナラント考ヘラル右ハ忌憚ナキ告白ナリ併シ衰カ日本ニ對シ好感ヲ有セサルカ故ニ到底日本ト融和スル能ハスト断定スルハ大イニ誤レリ若シ今後兩國ノ有識者カ務メテ惡感ヲ惹起スルノ因ヲ除キ加フルニ利害ノ關係ヲ以テ相結合スルニ至ラバ日支ノ提携ハ決シテ難事ニアラズ日本人中衰ヲ排斥シテ日本ノ実力ヲ示シタル上南方派ト相提携セバ如何ナルコトヲモ仕遂ケ得ヘシト信スルモノカ有ル如キモ右ハ大ナル謬想ナリト云フヲ憚ラス此際自分等ノ知ラント欲スル所ハ日本ハ果シテ支那ニ對シ如何ナル抱負ト希望ヲ有シ居ルヤニアリ豈敢テ支那ヲ朝鮮同様ニ併吞セントノ無謀ナル考ヲ有シ居ルニアラサルヘシ若シ日本ノ希望カ支那ニ於テ經濟上充分ノ發達ヲ為スト同時ニ政事上優越ナル地步ヲ確立セント欲スルニアラバ何故此好期ニ乘シ其ノ實現ヲ計ラザルヤ而シテ其ノ實現ヲ計ルニハ衰ノ勢力ヲ利用スルニ若クハナシ、試ミニ目下南方ニ於テ領袖ト目セラルル人物ヲ仔細ニ較量セハ蓋シ思半ニ過グルモノアラン孫黃ノ如キハ外國人ニ對スル威望ハ申迄モナク支那人間ニ於ケル信用サヘ既ニ失墜セリ現ニ黃興ノ如キ其

後ニ目下ノ時局ニ関シ廣東ハ御承知ノ小党分立互ニ相軋轢シ結局竜濟光再ヒ其ノ勢力ヲ恢復スルニ至ルベク之ニ反シ雲貴廣西ハ其ノ結束今尚鞏固ナラズ隨テ南方新設ノ政府カ活躍スルノ時期ハ前途遼遠ナリ今後三ヶ月モ經過セバ時局ハ此方ニ都合好キ様平和解決ヲ告グルニ至ラント思料スル旨附言シタル趣ナリ右ハ勿論梁一己ノ私見ナランカ周自齊、曹汝霖等目下当國政府当路者中ニハ右ノ如キ意見ヲ有スルモノ尠ナカラス彼等ハ今尚經濟的利權ヲ提供シテ我邦ヲ支援擁護ニ傾カシメントノ念ヲ断タザルモノノ如シ

五一 七月十三日 在北京坂西陸軍大佐ヨリ
田中參謀次長宛(電報)

前在本邦公使陸宗輿ヨリ交通銀行借款斡旋方

依頼アリタル件

坂特電号外

本日前任支那公使陸宗輿ヲ訪問シ時局ニ関スル談話ヲ交ヘ特ニ彼カ交通銀行ニ關係シ目下該銀行維持会ノ會長ニ推薦セラレ專ラ政府トノ交渉ニ任シツアルヲ以テ其内容ヲ尋ネタルニ目下交通銀行其者トシテ政府カ其債務ヲ弁償決済セバ良好ナル成績ヲ以テ營業ヲ行ヒ得ヘキモ帝制準備以來

殆ント政府ヘノ貸上ケノミヲ為セルヲ以テ今俄ニ政府ト縁ヲ切ルコトモ出来ズ去リトテ現ニ中国銀行ノ如ク政府カ全般ノ為ヲ思ハスシテ交通銀行ニモ頓着ナク天津ニテ兌換ヲ行フカ如キハ後日必ス窮スルニ至ルヘシ要スルニ支那ノ財政ハ紊乱セリト雖モ例ヘハ交通銀行ノ如キモ政府トノ關係ヲ離レテ營業スル時ハ決シテ困難ニアラサルナリ予ハ貴國駐劄中モ常ニ貴國人ヨリ日支ノ經濟的連絡ノ必要ナルコトヲ聞ケリ然レトモ貴國人ノ多クハ徒ラニ利權ノ獲得ノミニ熱中シテ其ノ實利ヲ収ムルニ冷淡ナル如ク觀察セラル目下日本ノ如ク金融閉息シ市面振ハザルトキニ於テ之ガ救済ノ為ニ資金ヲ投スルカ如キハ最モ機宜ヲ得タル処置ニシテ支那人民ヲシテ貴國ヲ徳トスルニ至ラシムルニ有効ナルヲ信シテ疑ハス例ヘハ天津交通銀行ノ兌換ヲ開始センニハ其紙幣ノ發行ニ対シ現銀百九十万ヲ要シ目下天津ニ貯蓄スルモノ百二十万ナルヲ以テ更ニ七十万ヲ補足セハ可ナリ此不足數ノ如キ額少數ナルヲ以テ今直ニ貴國人ニ於テ引受ケラルルカ如キハ至極妙ナラント思ハル予ハ貴國大倉主人ヲ能ク知レリ彼ノ如キハ之ヲ引受ケサルヤ如何トテ小官ニ問合ヲ依頼セリ小官ハ事専門外ナルモ一応問合スヘシト答ヘ置ケ

ハ差当リ交通銀行カ日本側ヨリ百万円乃至二百万円ノ貸付ヲ受ケ之ヲ其ノ兌換用ニ当テ而シテ右貸付ニ対シテハ交通部ニ於テ保証スルコトトシ同時ニ日本側ヨリ交通銀行ニ人ヲ入レ其内部ノ状況ヲ取調ヘ日本側ニ於テ合辦トスルモ可ナリト見込立チタル上初メテ日支合辦談ヲ進ムルコトトシテ差支ナシトノ意見ヲ有スル趣ニテ河野ニ於テハ此際右ノ如キ方法ニテ兎ニ角交通銀行ニ人ヲ入レ引掛リヲ着ケテ置キ度シ然ラサレハ同様ノ交渉ヲ他國側ニ持チ込ムコトトナルヘシト思考スル旨述ヘタルニ付小池局長ハ本問題ニ対シテハ政府ニ於テモ考慮スル所アリ目下詮議中ナルカ政府側ノ意嚮ハ追テ通知スヘシト答ヘタリ尚河野ハ八月二日東京出發北京ニ趣ク由ナリ

又右會談ノ際小池局長ハ為念同伴ノ門野ニ対シ大倉組自身ニ於テ此際前記百万円乃至貳百万円ヲ支出スル考アルヤヲ確メタルニ門野ハ大倉組ニ於テハ銀行業ニハ出資ノ考ナシト答ヘタリ故ニ本件相談纏リタル上ハ是ニ要スル資金ハ政府ニ於テ支出セサルヘカラス

五一三 八月四日

石井外務大臣ヨリ
在中国小幡臨時代理公使宛(電報)

リ尚陸ハ貴國ニテハ或ハ現ニ交通銀行救済ノ名義ニテハ不可能ニシテ他ノ名義ニ依ラサル可カラサルヤモ計ラレス其辺ハ予自ラ貴國人ト財政部トノ間ニ立チテ適當ニ取計フヘシト云ヘリ

右御方針上差支ナクハ大倉ヘ問合セラレタシ若シ之ヲ引受クルトセハ必スシモ大倉ニ限ル訳ニアラス又此借款ハ財政部ヲ相手トシ相応ノ担保ヲ得テ行ハルルモノナリ

五一二 八月一日

小池政務局長
大倉組河野及門野両氏會談

交通銀行日中合辦問題ニ付大倉組ト中国公使

ト交渉ノ模様ニ関スル件

大正五年八月一日河野久太郎及門野重九郎小池政務局長ニ面談ノ要領等

大正五年八月一日大倉組河野久太郎門野重九郎同伴小池政務局長ヲ來訪シ語ル所ニ依レバ河野ニ於テハ交通銀行日支合弁ノ件ニ関シ其ノ後章新支那公使ト引続キ種々内談ヲ遂ケタル趣ニテ右ハ支那側ニ於テ本件ハ成ルヘク官憲ノ手ヲ經スシテ相談ヲ纏メ度キ意嚮ヲ有セシカ為ナリト云フ而シテ章公使カ北京ヨリ受ケタル書信ニ依レハ支那側ニ於テ

交通銀行日中合辦ニ関シ大倉組ノ本邦ニ於ケル交渉顛末通報及北京ニ於ケル同交渉援助方訓令ノ件

第二九三号

交通銀行日支合辦ノ件ニ関シ八月一日大倉組河野カ小池局長ニ語ル所ニ依レハ支那側ニテ本件ハ成ルベク官憲ノ手ヲ經スシテ相談ヲ纏メ度キ意嚮ヲ有スル為河野ニ於テ其後モ引続キ章公使ト内談ヲ重ネタル処章公使カ北京ヨリ受ケタル書信ニ依レハ支那側ニ於テハ差当リ交通銀行カ日本側ヨリ百万円乃至二百万円ノ貸付ヲ受ケ是ヲ其ノ兌換用ニ充テ而シテ右貸付ニ対シテハ交通部ニ於テ保証スルコトトシ同時ニ日本側ヨリ交通銀行ニ人ヲ入レ其内部ノ状況ヲ取調ヘ日本側ニ於テ合辦スルモ可ナリトノ見込立チタル上初メテ日本合辦談ヲ進ムルコトトシテ差支ナシトノ意見ヲ有スル趣ニテ河野ハ此際我ニ於テ躊躇セハ支那側カ同様ノ交渉ヲ他國側ニ持込ム虞アルニ付兎ニ角右ノ如キ方法ニテ交通銀行ニ人ヲ入レ引掛リヲツケテ置キ度シト申出タリ右ハ帝國政府ニ於テモ異存ナキニ付河野カ貴地ヘ罷出タル節ハ同人ヨリモ詳細ノ事情御聴取リ相成リ十分援助御供与アリ度シ

尤モ大倉組ニ於テハ銀行業ニハ投資ノ考ヲ有セサル趣ニ付本件相談纏リタル上ハ前記貸付ニ要スル資金ハ帝國政府ニ於テ支出スル意嚮ナルニ付右御含アリ度、尚右会談ノ際河野ハ南昌杭州間鐵道利権獲得ノ件モ成功疑ナキニ付右獲得運動ニ対シ政府ノ黙認ヲ乞フト述ヘ又広東汕頭間鐵道敷設ニ關スル利権モ確實ニ獲得シ得ヘキ考ニテ將又海蘭鐵道ニモ更ニ進ミタル引掛リヲ着ケ得ル見込アリト述ヘ居リタリ追テ河野ハ八月二日東京出發北京ニ向ヒタル筈

五一四 八月十五日 在北京大倉組河野久太郎ヨリ小幡参事官宛

交通銀行日中合辦ニ關シ同銀行關係者トノ交渉狀況報告ノ件

交通銀行合弁交渉ニ關スル報告

交通銀行日支合弁ニ關シ東京出發前小池政務局長門野弊社重役ト打合セタル方針ニ基キ北京着以來同行關係者間ニ交渉ヲ開始シ稍々端緒ヲ得タルヲ以テ其模様大略ニ御報告致候

一陸宗輿氏トノ交渉

章駐日公使ヨリ本件ニ關シ陸氏宛照會電アリタルヲ以テ

脚後同行ハ中心人物ヲ失ヒ重大問題ノ決定ニハ漸次各部面ヨリ交渉運動シ略其意見一致ヲ見タル上ニテ更ニ適當ナル代表者ヲ挙ケシメ其レト具體的協議ニ移ル順序ト相成可申先ツ今日迄各方面ノ模様ヲ綜合スルニ大体ニ於テ合辦計画ハ成立シ得ヘシト觀測致居候

但ダ茲ニ困難ノ一問題トモ云フヘキハ東京ニ於テノ打合セニヨレバ此計画ノ進行ニ伴ヒ相當覺書ノ取り交セ位迄抄取リタル時ハ正金銀行小田切氏ノ手ニ移スコトニ取極メアリシヲ以テ二三關係者ニ内々此件打明ケタルニ彼等ノ說ニヨレハ進行ノ途中ニ於テ正金ノ名義ヲ出スコトハ五國銀行團ノ關係モアリ又小田切氏ニ対シテモ一般ニ敬畏ノ念ヲ抱キ居ルヲ以テ日本側内部關係ノ如何ニ係ラス契約ヲ全然訂契スル迄ハ全ク正金ノ出頭ヲ不可トス契約調印済ノ上ニテ正金ニ移ス様ナサレタク倘シ大倉名義ニテ差支アレバ一時仮リニ機關ヲ作り其ノ代表トシテ調印ヲ終ヘ第一次借款交付ト同時ニ正金ニ引渡サルモ一策ナリト申出候之ニ対シ正金特ニ小田切氏個人ノ關係上斯ルコトヲ日本ニ通達スルハ甚ダ迷惑ナリト答ヘシニ彼等ハ而ラバ楊廷棟ヲシテ船津書記官ニ陳述セシムルト申居候、此儀ニ就テハ何等カ良法御

入京先ツ同氏ヲ訪ヒ交銀合辦ニ關スル意向ヲ探リタルニ同氏ハ至極賛成ヲ表シ株主会々長トシテ専ラ株主側ヲ纏ムル傍政府筋ヘモ運動セムコトヲ諾シ爾來同行大株主タル張勳將軍ノ代理者陳敬儒ト打合セ進行中陳ハ陸氏ト同シク株主總代整理委員ニ候

一施肇曾氏ハ同行董事会々長トシテ夙ニ此計画ニ賛同シ居ル有力ナル後援者ナルモ頃日秣陵開鉄礦ニ關シ物議ヲ醸シ居ルヲ以テ本件ニ關シテハ表面ニ立チ活動スルヲ避ケ裏面ニ於テ運動声援中、先日許交通總長ニ会晤ノ節近頃交銀日支合辦計画說アリ甚ダ時宜ニ適セル良案ナリト信シ賛成ナルヲ以テ最モ關係深キ貴總長ニ報告シ置ク云々ト暗ニ本案ニ賛成ヲ促シ置キタリトノコトニ候尚同行董事ノ一人ナル鮑宗漢モ施氏ト共ニ董事会側ヲ説得中、又現任協理任鳳苞氏ニモ施鮑氏等ヨリ協議シ既ニ賛成ヲ得タリトノ事ニ候

一楊廷棟ヨリハ財政方面ニ關係多キ議員連ヲシテ陳財政總長ヲ説カシメ既ニ其同意ヲ得又一面同氏ノ手ヨリ徐國務秘書長ヲ説キ同氏ノ賛成ヲ得タルヲ以テ徐氏ヨリ更ニ段國務總理ヲ動かサシムルコトニ約束シ居候由、梁士詒失

研究願上候、右御報告申上候、以上

大正五年八月十五日

河野久太郎

小幡参事官閣下

五一五 八月十八日 在北京大倉組河野久太郎ヨリ門野副頭取宛

交通銀行合辦ニ關シ正金銀行ノ名義取扱方ニ

關スル件

拝啓 交通銀行ノ件

既ニ前便來御報申上候通り銀行内部關係者側ハ全部賛成ニテ政府筋モ陳財政總長ノ如キ個人トシテハ最早賛意ヲ表シ居リ候ヘバ政府全体ノ意向モ不日決定可致候ニ付彼等運動者ヨリ具體的提案請求致居候処貴方提案中ニアル正金銀行名義ハ交渉進行ニ障害有之候事前便得貴意置候通りノ次第ニ付先ツ此件ニ付キ本日林公使小幡氏ニ相談致候処公使ハ問題カ成立サヘスレバ運動中ノ名義ナドハ何ニテモ差支ナシトノ御意見ニ付貴提案中一二号中ニアル正金銀行ヲ日本資本家ト改メ提出致ス積リニ御座候尚本件ニ付テハ小田切氏モ來京ノ筈ニ付篤ト内情ヲ打明ケ相談致ス心組ニ御座候

間御含置被下度候
右御報告申上候 敬具

五一六 八月三十一日 在北京大倉組出張所ヨリ
大倉組本店宛(電報)

曹汝霖氏交通銀行總理就任承諾ノ件

交通銀行ノ件

交通銀行ノ件曹汝霖總理ヲ承知シタルニヨリ今政府ニ交渉
中

五一七 十月七日 北京ニ於テ日中代表者会見

交通銀行借款ニ関シ日中代表者会見ノ顛末記

録ノ件

附屬書 中国側ヨリ提出ノ交通銀行借款条件案

大正五年十月七日隴海鐵路公所ニ於テ会見ノ顛末ヲ左ニ
録ス

一、当日出席者支那側任協理施董事會長陸股東會長汪同副
會長紹介人曹汝霖楊廷棟張書日本側小貫慶治河野久太郎

一、支那側ヨリ別紙ノ通り借款条件ヲ提出ス

一、日本側ヨリ此提案ニ対シテハ熟議ノ上追テ回答スルコ

明セシメ置クヲ要スト述ベシニ対シ先方ハ紙幣發行ノコ
トハ各外国銀行ハ勿論支那ノ銀行モ行ヒツ、アルモノニ
テ別ニ特准トシテ政府ニ言明サセ置ク必要ヲ認メス今日
如此ヲ外国借款ノ場合ニ持出スハ内情ニ於テ許サズト云
フ

官金取扱ニ関シテハ從來交銀トシテハ此ノ為何等利得セ
シコトナク反テ政府トノ關係上借上金ノミ増加シ現ニ数
千万円ニ及ブ始末ニテ將來此官金ノ取扱ハ斷リ度シト云
フ然ラハ交通部ノ關係ハ如何ト問ヒシニ交通部ノ鐵道収
入ノ如キハ借款ノ關係上外国銀行ニ預入ルコトアリ例
ヘバ京津浦鐵道ノ如キ滙豐銀行ガ取扱ヒ居ル如ク交通
部收入カ必スシモ交通銀行ニ取扱ハセル訳ニモアラス然
レトモ交通部ハ交銀ノ大株主タル特殊關係ヨリシテ交銀
カ將來整理サレ日支合辦トナリ基礎確實トナラバ一層親
密ナル關係ヲ齎スハ疑ヲ入レズ要スルニ出資者トシテ最
モ重要視スヘキ点ハ本行ガ各地方ニ充分ノ地盤ヲ有シ地
方經濟上ニ勢力ヲ有シ居ルコトナリト云フ

一、借款期內日本人ヲ容レ借款用途ヲ查察セシム云々ニ付
一人トセシハ外評ヲ慮リテナリ表面一人ト定メテ他ノ一

トトシ本日ハ単ニ本借款ニ関シ參考トナルヘキ事柄ヲ双
方腹藏ナク懇談スルコトトシタリ

一、借款總額四百万円ニ付

右ハ北京ヲ除キ重ニ長江筋ニアル交銀紙幣引換ニ充テン
トスルモノニシテ内上海兌換二百万円長沙重慶等ノ兌換
百万円トシ此等支店ノ營業資金トシテ残余ノ百万円ヲ準
備ニシタシト云フ

一、借款年期ヲ二ケ年トシ利息ヲ年六厘トスルコト

日本側ヨリ利息ハ八厘ニテハ如何ト云ヒシニ支那側ハ本
借款ノ性質カ將來合辦ヲナス前提ナルヲ以テ利息ハ特ニ
低利ニセラレタシト云フ

一、借款担保トシテ隴海鐵路債券二百万円財政部國庫券二
百万兩ヲ提供スルコト

右ニ対シ吾々ヨリ財政部若クハ交通部ヲシテ保証セシム
ルコトヲ要スル旨話セシ処先方ハ政府部内種々ノ事情ノ
為メ保証ヲ求ムルコトハ困難故銀行トシテハ普通商借款
ノ形式ヲ採リ單ニ財政部ヲシテ承認セシムルニ留メ置キ
タシト云フ吾々ヨリ更ニ從來交通銀行ガ有スル紙幣發行
權及官金取扱ノ權ハ將來トモ持續スル旨交通部ヲシテ言

人ハ考察員ノ補佐トシテ置カバ宜敷カルベク俸給ハ増加
スルモ大シタ問題ニ非ズト云フ

又借款用途考察トセシモ表面上ノコトニテ其實銀行全般
ノ查察ヲ為サシムルモノナリト云フ

一、借款期内外人ニ向ヒテ借款セントスルトキハ先ヅ日本
側ト協議シ其ノ希望ナキ場合他ト相談スルコト

右ニ対シ將來日本側ノ希望ニヨリ合辦スルコトヲ承諾ス
ト改メテハ如何ト主張セシニ支那側ハ今日ノ國情合辦云
々ヲ契約ニ記スヲ許サヌ故借款優先權トナシ置キタルモ
其實時期ヲ見テ合辦ヲナス考ナリ其準備トシテ日本ヨリ
考察員ヲ入ル、訳ニテ其辺ハ吾々ヲ信頼シ呉レラレタシ
ト現在ノ國情ヲ述ヘタリ

契約ニ書込ムガ惡ケレバ紙面ニテ其意ヲ明ニシテ置キテ
ハ如何ト云ヒシニ彼等ハ交銀ハ結局借款ニヨリテ整理ヲ
行ハザルベカラズ其整理借款ノ起ルト同時ニ合辦問題ニ
移ス考ナレバ今其紙面ノ必要ナカラムト云フ

一、日本側代表者ニ付

本借款ハ正金銀行ノ出資ニ係ルコトハ前ヨリ屢申置キシ
如クナレバ後日契約ノ場合ハ正金代表者ト直接調印サレ

タシト云ヒシニ彼等ハ曰ク其事情ハヨク存ジ居レトモ正金ハ五国団ノ關係モアルコト故此商辦借款ニ正金名義ヲ用ユルコトハ面白カラズト云フ

此日陸曹両氏不得已用事アリ他ノ三項ハ別ニ意見ノ異ル点無之模様ニテ是レニテ散会ス 以上

註 本記録ハ大倉組河野久太郎ノ作成セルモノト認メラル

(附屬書)

中国側ヨリ提出ノ交通銀行借款条件案

立合同上海交通銀行与 訂立借款合同草約条件於左

- 一、借款総額中国銀元四百萬元
- 一、此借款兩年為期年息六厘半年付息一次
- 一、此借款以隴海鉄道票二百萬元財政部国庫券公足銀二百萬兩為担保品
- 一、借款期內交通銀行聘用日本人一員得借款公司同意查察借款用途每年薪俸五千元
- 一、借款期內交通銀行如向外人募集款項应先知会借款公司如公司不欲承辦方可与他銀行他公司商辦
- 一、合同簽字之日応將借款四百萬元如數交与上海交通銀行
- 一、合同簽字後一星期內全數交清倘不能付款此合同作為無

甲号写

交通銀行借款契約要点案

- 一 金額 日本金百万円乃至二百万円
- 一 期限 二ケ年
- 一 利子 年七分乃至八分 但シ半年毎ニ前払
- 一 元利支払ノ保証 交通部
同時ニ紙幣発行、官金取扱等現時交通銀行カ政府トノ關係ニ於テ有スル特權其他同行ト政府トノ現時ノ關係ハ将来ニ於テモ持續サルヘキ旨交通部ヲシテ言明セシム
- 一 交通銀行ニ正金銀行ノ推薦スル日本人査察員一名同助手一名ヲ雇入ルヘシ
- 一 査察員及同助手ノ雇入契約ハ別ニ交通銀行ト本人トノ間ニ之ヲ締結ス(期限二ケ年、俸給査察員助手トヲ併セテ一ケ年日本金一万円ヲ限度トスルコト、他ノ条項ハ普通外人雇傭ノ場合ノ例ニ準シ且成ルヘク簡易ノ条項トスルコト)
- 一 交通銀行ハ査察員ニ対シ其ノ營業狀態ヲ知ルニ必要ナル総テノ帳簿計表ヲ示シ資産書類証券及担保物件等ヲ

効

一、此項借款合同由上海交通銀行簽訂經董事会通過及總管理処蓋章並須陳明政府備案

五一八 十月二十六日 寺内兼任外務大臣ヨリ
在中国林公使宛

交通銀行借款契約案及協定書案送付ノ件

附屬書一 交通銀行借款契約要点案写

二 協定書要点案写

機密送第一八八号

交通銀行日支合辦計画ノ件ニ関シテハ曩ニ八月四日石井外務大臣ヨリ小幡代理公使ヘ宛往電第二九三号ヲ以テ申進シタル次第ニ有之其ノ後ノ成行ニ付テハ貴地滞在中ノ大倉組河野久太郎ヨリ隨時小幡参事官ヲ經テ貴官ヘ報告且御協議モ遂ゲタル趣ニ付大体御承知ノ儀ト思考致候別紙甲号写交通銀行借款契約要点案及乙号写協定書要点案ハ曩ニ外務省大藏省及正金銀行トノ間ニ協議作成シ河野ヘ交付致置タルモノナル処送付洩レニ付為御参考及御送付候間御査閲相成度候尚右ニ付委曲ハ河野ヨリ御聴取相成度此段申進候也

(附屬書一)

査閲セシメ又ハ査察員ノ請求ニ応シテ各種ノ報告ヲナシ又業務上ノ重大ナル事件ニ付テハ隨時査察員ニ通告スヘシ

前項ノ目的ヲ達スルカ為ニ査察員又ハ助手ハ交通銀行ノ本支店ヲ通シテ隨時出張調査ヲナスコトヲ得

- 一 査察員ノ調査報告ノ結果交通銀行ヲ日支両国ノ資本ヲ以テ合辦經營トスルコト適當ト認メラルルニ至リタル場合ニハ交通銀行ハ成ルヘク速ニ右合辦協定ヲ成立セシムルモノトス又右調査報告ノ結果合辦經營ノ法ニヨラス交通銀行ニ於テ借款ヲ起スコト適當ト認メラルルニ至リタル場合ニ於テハ交通銀行ハ右借款ニヨリ同行ノ整理ヲ行フモノトス
- 一 交通銀行ハ組織ヲ變更シ又ハ新ニ借款ヲナシ若クハ何等ノ名義ヲ問ハズ外国人ヲ傭聘セントスル時ハ先ツ査察員ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

(附屬書二)

乙号写

協定書要点案

先般来下名ニ於テ内議ノ結果今般交通銀行ニ於テハ正金銀

行ヨリ日本金百万円乃至二百万円ヲ借入レ同時ニ日本人查察員ヲ雇入レ其ノ調査報告ノ結果ニヨリ将来交通銀行ヲ日支合辦ノ経営トナスカ或ハ更ニ日本資本家ヨリノ借款ニヨリ交通銀行ノ整理ヲ図ルコトノ目的ヲ以テ協定ヲ遂ケタル次第アルニ就テハ右ノ趣旨ヲ以テ交通銀行ハ可成速ニ正金銀行トノ間ニ契約ヲ訂結スヘキコトヲ茲ニ協定ス

五一九 十一月二十九日

本野外務大臣ヨリ
在中国林公使宛(電報)

交通銀行借款ニ付中国側八米國資本家ト交渉

スルノ模様アリヤ問合ノ件

第四八五号

大倉組河野ヨリ本店ヘノ電報中交通銀行借款ハ至急決定スルニアラサレバ支那側ハ米國資本家ヘ交渉ヲ開始スヘシトアル処果シテ右様ノ模様アリヤ御内探ノ上電報アリ度尚貴官ニ於テモ御承知ノコトト思考セラルルカ本件ニ関シテハ曹汝霖陸宗輿ニ於テ日本側借款成立ノ為メ支那政府部内ニ運動中ノ由ノ処其ノ事情ハ坂西承知ノ筈ニ付支那政府筋ノ意嚮等本件其後ノ成行ト共ニ電報アリ度シ

五二〇 十二月二日

在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

中国ガ交通銀行所要借款ヲ米國ニ求メントスル模様アリヤノ問合ニ対シ回答ノ件

第一〇八一号

貴電第四八五号ニ関シ交通銀行借款ハ御承知ノ通り株主側ヨリ河野ニ申出デタル二百万円ト交通部ヨリ中山ニ申出デタル千万円ノ二ロアリ前者ハ機密第二九二号末段ノ事情ニ依リ商議中止ノ姿ニアル為昨今施肇曾等ヨリ頻リニ河野ニ迫リ此際日本側ニテ引受ケザレバ米國側ノ資金ニ依ルコトトナルベキ意嚮ヲ洩ラシ居レリ尚右ハ元來株主側ノ計画ナルヲ以テ曹汝霖之ガ委任ヲ受ケ日本ニ於テ商議スルガ如キハ殆ンド不可能ナルノミナラズ他面交通部当局ニ於テハ交通部ノ手ニテ資金ヲ供給シ銀行ニ対スル勢力ヲ擴張セントノ下心アル為株主側ノ借款ヲ悦バザル事情モアリ旁我方ニテ寛大ナル条件ヲ提出セザル限り成立困難ナルヘク合辦ノ約束取付ノ如キハ殆ト望ナキ状況ナリ乍去是迄ノ行懸リモアルニ付我方ヨリ兎モ角再ビ會談ヲ試ムルコト至当ナルベシ

又後者ハ条件次第ニテハ交通部ヲシテ我方トノ談合ヲ進メシムルコト望ナキニアラザルモ許総長ハ内心本邦側トノ借款ヲ好マザル様子ニ付曹汝霖ニ委任シテ日本ニ於テ商議ヲ為サシムルカ如キコトハ容易ニ実現セザルベキ模様ナリ將又株主側ニセヨ交通部ニセヨ交通銀行救済ノ為特ニ米國ヨリ借款スルガ如キハ担保ノ關係上容易ニ行ハレザルベシト認メラルルモ財政部ニ於テハ交通銀行ニ対シ多額ノ負債ヲ有シ居リ且ツ同銀行兌換開始ニ関シ相当ノ措置ヲ講スル義務アルニ付場合ニ依リテハ今回ノ米支借款増借等ニ依リ救済ヲ為スニ至ルヤモ計リ難キニ付右ノ事情ヲ考慮ニ入レラレ差向キ二百万借款ニ付至急方針ヲ決定セラルル様致シタシ

五二一 十二月三日

在北京坂西陸軍大佐ヨリ
田中參謀次長宛(電報)

交通銀行借款交渉渋滞ノ事情及其ノ対策二閱

スル件

坂特電第七九号

過日來交通銀行救済ノ一部トシテ同銀行ト我大倉組トノ間ニ其ノ相談アリ又交通部次長ヨリ中山顧問ニ向ヒ一千万円

借款ノ問合ハセ方申込アリ後者ニ対シテハ極秘ヲ以テ貴地朝鮮銀行ニテ周旋ノ見込アリトノコトナリシヲ以テ其旨中山ヨリ交通部次長ヘ申込ミ又一方交通銀行株主會長タル陸宗輿並ニ今回日本ニ赴クヘキ同銀行株主曹汝霖モ大イニ我資本家トノ交渉ヲ進ムヘク尽力中ナルモ其当局ノ主腦タルヘキ交通總長許世英ハ過日我興亞公司借款カ一大問題トナリ又電話借款ニヨリテ議會ノ攻撃ヲ受ケ其他吉長鉄道談判ニテ手ヲ焼キツツアル等ノ為日本ヲ斥ケテ米國ニ求メツツアルハ事實ナルカ如ク之カ為何レモ進捗セスサレバトテ陸曹汝霖モ日本トノ關係ニツキ誤解セラルルコトヲ虞レテ彼ニ迫リテ其意志ヲ翻ヘサシムル迄ニ至ラス今日ノ所徐世昌ト段祺瑞ニ説キテ許世英ヲ從ハシムルノ外ナク陸ト曹トハ此ノ手段ヲ取リツツアリ然ルニ昨夜陸カ特ニ小官ヲ招キ語ル所ニヨレバ兎ニ角許世英ハ自分ノ位置サヘ不安定ナル為果シテ徐ヤ段ノ言ヲ聞クヤ否ヤモ明ナラス而シテ一方交通銀行ノ内容ハ仮令一時兌換開始ノ為一、二千万円ヲ借りテ姑息ノ手段ヲ講スルモ其根本の整理ハ非常ニ困難ナルヲ免レス故ニ交通銀行救済ノ借款ハ敢テ之ヲ急カス寧ロ日支兩國經濟の連絡ヲ密接ナラシムル為ニハ速ニ兩國資本家ノ

合辦ニナル銀行ヲ新ニ設立シ而モ其株主ニハ自分等ヲ初メトシ支那中央及地方ノ有力者例ヘハ徐世昌、張勳、曹錕ノ如キモノヲ包括スル時ハ意外ニ有効ナル成績ヲ収メ得ヘシト信ス云々トテ今回曹汝霖ノ日本行用務中ノ一ナルカ如ク語レリ

要スルニ支那人一般米國資本家ニ頼ラントスルノ趨勢ハ日ト共ニ増加スヘク我ト彼トハ速ニ政治及実業借款及右ノ如キ日支關係借款ノ連絡ニ対スル方針ノ確定ト実施ノ迅速ナランコトヲ感スルヤ切ナリ

五二二 十二月十一日 本野外務大臣ヨリ
在中国林公使宛(電報)

交通銀行二百万円借款ニ付条件ヲ改メ商議再
開方ニ關スル件

別 電 同日本野外務大臣發在中国林公使宛電報第五〇
一号

交通銀行借款ノ新条件

第五〇〇号

貴電第一〇八一号予テ詮議中ノ交通銀行二百万円借款ノ件ニ關シテハ其後在貴地河野ヨリモ大倉組ヘ督促シ来リタル

第五〇一号

交通銀行借款条件

一、金額 日本金貨二百万円

二、期限 二年

三、利子 年七分但半年毎ニ前払

四、担保 隴海鐵路社債二百万円國庫債券二百万円

五、債權者 日本興業銀行

六、興業銀行ノ推薦スル日本人査察員一名同助手一名ヲ雇
入ル、コト

査察員及助手雇入契約ハ別ニ交通銀行ト本人トノ間ニ
契約スルコト期限二年俸給査察員助手トヲ併セテ一ケ
年日本金壹万五千円ヲ限度トス他ノ条項ハ普通外人雇
聘ノ例ニ依ル

七、査察員ハ營業狀態ヲ知ルニ必要ナル総テノ帳簿計表資
産書類証券及担保物件等ヲ査閲シ及銀行ハ其要求ニ応
シ諸種ノ報告ヲナスコト其他重要事項ハ査察員ニ協議
ノ上実行ス

八、交通銀行ハ組織ヲ變更シ新ニ借款ヲナシ若ハ何等ノ名
義ヲ以テスルヲ問ハス外人ヲ雇聘セントスル場合ニ

六 对中国借款關係雜件 (二) 五二三 五二四

ニ付政府ニ於テハ詮議ノ結果別電第五〇一号ノ如キ条件ニ
改メ且ツ右ニシテ政治借款ト認メラルルノ虞無ケレバ本件
商議ヲ再開セシムルコトト致度考ナル処右ノ如キ条件ナラ
バ此際商議ヲ進行セシメ得ル見込アリヤ又本案ニ依レハ形
式上両銀行間ニ於ケル商業上ノ取引ナレハ政治借款ト看做
サルル虞ナキカ如ク思ハルルモ之ニ対スル御見込至急回電
アリ度尚若シ貴見ニシテ別電ノ如キ条件ヲ基礎トシテ本件
商議ヲ継続セシメテ差支ナシトノコトナレバ委細河野其他
本件關係者ニ御伝達ノ上早速商議ヲ進メシムル様御措置相
成差支ナシ尤モ担保タルヘキ隴海鐵路社債及國庫債券ノ実
価値ニ付テハ為念一応御調査アリ度又貴電第一〇九四号ノ
次第モアリ此際我方ニ於テ海關鐵道ト關係ヲ附ケ置ク為メ
出来ルタケ多ク同鐵道社債ヲ提供セシメ度キ希望ナルヲ以
テ担保額ハ必スシモ別電所載ノ割合ニ限ラサル次第ナルニ
付右御含ノ上然ルヘク關係者ヲ御指導アリ度シ尚本件ニ關
シテハ大倉組ヨリモ河野ヘ電報アリタル答

(別 電)

十二月十一日本野外務大臣發在中国林公使宛電報第五〇一号
交通銀行借款ノ新条件

ハ先ツ日本査察員ノ同意ヲ經ルヲ要ス 以上

五二三 十二月十三日

在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

交通銀行二百万円借款ノ新条件ハ五國銀行団
トノ關係ニ於テ支障ナシト認メ大倉組河野ヲ
シテ直ニ開談セシムルコトトセル旨報告ノ件

第一一三一号

貴電第五〇〇号ニ關シ交通銀行ハ中国銀行ト其性質ヲ異ニ
スルヲ以テ興業銀行ニ於テ御来示ノ如キ条件ニテ借款商議
ヲナスモ五國団トノ關係ニ於テ何等支障ナシト認メラレ尚
河野ニ於テモ右条件ニテ商議ヲ進メ得ヘシトノ見込故直ニ
開談セシムルコトニ取計タリ尤モ今回ハ専ラ河野ヲシテ商
議ニ当ラシメ必要ノ場合ニ正金ヲシテ援助セシムルコトニ
小田切ト打合セ置キタリ將又既報ノ通交通總長ハ本邦側ト
ノ借款ヲ喜ハサルニ付本件商議果シテ満足ニ纏マルヘキヤ
更ニ見据付兼マル次第故其ノ辺ハ予メ御含置アリタシ

五二四 十二月十五日

在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

興業、朝鮮、台灣ノ三銀行ヨリ交通銀行ヘ一千万

円ヲ融通セントスル東京内談ニ付意見稟申ノ件

第一一四一号

貴電第五〇〇号ニ関シ十四日河野二三交通銀行關係者ニ面会シ貴電第五〇一号条件ノ大要ヲ内示セルニ大体異存無キモ金額ヲ三百万円トナシ度キ旨申出デタルニ付直ニ本店ニ電報シ日本側關係者ノ同意ヲ得タル次第ナルガ河野ハ十五日更ニ機密第二九二号ヲ以テ報告セル支那側關係者一同ト会见ノ上正式ニ条件ヲ開示シ商議ヲ試ミタル処席上曹汝霖ヨリ実ハ極内密ノ話ナルカ先般東京ニ於テ興業、台灣、朝鮮ノ三銀行ヨリ交通銀行資金トシテ合辦問題ヲ離レ(一)全額ヲ千万円トシ不足ノ場合ニハ更ニ千万円ヲ限り続借ニ応スルコト(二)確實ナル担保ヲ提供スルコト(三)相当ノ方法ニヨリ費途監督ヲ行フコトノ三条件ヲ基礎トシ借款ニ応スヘキ意嚮ヲ洩ラシ東京ニ於テ商議シ度キコトヲ申出デタル趣ヲ述ヘタル為一同ヨリ右様ノ談合アルニ於テハ今回ノ三百万円借款ヲ見合セ直ニ千万円借款ヲ北京ニ於テ進ムルコト得策ト認ムルニ付右商議ノ為メ河野ニ於テ三銀行ノ代表者トナルカ又ハ別ニ日本ヨリ人ヲ派遣スルヤ確答ヲ得度旨申出タリ右ニ對シ河野ヨリ千万円借款ニ応ズルコトシテモ日本側

ニ於テ交通銀行内部ノ情况ヲ知ル必要アルベキニ付不取敢三百万円借款ヲ成立セシムルコト然ルベキ旨ヲ主張シタルニ支那側ニテハ飽迄千万円借款ノ商議ヲ為シタキ趣ヲ固執セルニ依リ河野ヨリ委細東京ニ電報スベキヲ約スルト共ニ本件ニ就キ商議進行中他ノ資本家ニ持廻ラザルコトヲ確言セラレタシト念ヲ押シタルニ支那側ヨリ断ジテ他ニ持廻ラザルベキニ付内密ニ商議ヲ希望スル旨言明シタル趣ナリ本件ニ關スル本使ノ意見ハ左ノ通りニ付至急關係ノ向キト御協議ノ上何分ノ義御電訓ヲ請フ

(一)交通銀行ノ内情ハ紛雜ヲ極メ居リ大体何程ノ資金ヲ以テ恢復シ得ヘキヤ更ニ見据付カサルモ三百万円位ノ少額ニテハ如何トモ致方ナカルヘシト認メラルルニ付直ニ千万円借款ノ商議ヲナスカ又ハ取急キ三百万円借款ヲ纏メ之ト附帶シ一定ノ期限ヲ定メ千万円迄貸出シヲ約スル方然ルベシ

(二)朝鮮、台灣兩銀行ヲ表面ニ出スコトハ交通銀行關係者ハ兎モ角一般支那官民ニ面白カラサル感想ヲ与フル虞アルニ付表面ハ興業銀行ノミトシ兩銀行ノ關係ハ内部ノ關係丈ケニ止ムルコト然ルヘシ

第五三二号

貴電第一一四一号交通銀行借款ノ件ニ關シ本件ニ付キ当方關係側ニ協議ノ纏リ居ルハ往電第五〇〇号及第五〇七号所載ノ三百万円ニシテ又現下日本ノ經濟狀態ニテハ今日直ニ千万円調達ヲ約束スルコトハ稍々困難ナル実情ナルニツキテハ兎ニ角此際ハ三百万円借款ヲ単独ニ成立セシムル様御尽力アリタシ從テ申迄モナキ義ナカラ貴電第一一四一号後段(三)ハ貴見ノ通り御取計アリタシ

五二七 十二月二十五日

在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

西原龜三ガ曹汝霖陸宗輿ト為シタル交通銀行

借款ノ話合ニ付請訓ノ件

第一一七二号

十二月十五日交通銀行關係者會議ノ席上曹汝霖ハ往電第一一四一号前段ノ通り内話シタル後現ニ日本銀行団代表者北京ニ來リ居ル趣ヲモ附言シタル由ナリシモ當時本使ニ於テ何等心当ナカリシニ付多分曹ノ誤解ナルヘシト認メ進シテ詮議立ヲナササリシ処今回西原龜三來京交通銀行借款問題ノ(脱)報告スル処アリ右ニヨリ曹ノ所謂代表者ハ西原ヲ

万円借款推進方指示ノ件

交通銀行一千万円借款ハ差当リ困難ニ付三百

五二六 十二月二十二日

本野外務大臣ヨリ
在中国林公使宛(電報)

交通銀行ノ件曹汝霖ニ章宗祥公使ヨリノ紹介ニテ日本興業銀行代表ト云フ或ル日本人ヨリ当方ヨリハ好条件ニテ千万円貸スト運動シ当方進行ニ害アリ林公使ハ断然斯ノ如キコトアル筈ナキ故着々進行セヨトコトナルモ貴方ヨリモ外務省ニ打合セ章宗祥ヲシテ速カニ右取消電信ヲ曹汝霖ニ打タシメ障害ヲ除ク様取計ヲ頼ム

ベシ

五二五 十二月十六日

在北京河野久太郎ヨリ
大倉組本店宛(電報)

章在本邦公使ノ紹介ニテ日本興業銀行代表ト

称シ交通銀行ヘ一千万円貸スト運動シ居ル日

本人ニ關スル件

(三)此際日本ヨリ新ニ人ヲ派遣スルトキハ本借款ノ消息ヲ外間ヨリ感知セラルル虞アルニ付大体ノ見当付ク迄ノ間暫ラク河野一人ヲシテ内密商議ノ衝ニ当ラシムルコト然ル

指シ又同人ハ東京ニ於テ章公使トノ間ニ本借款ノ話合ヲ為シタル次第ヲモ承知セルガ二十四日西原来訪曹汝霖、陸宗輿ト会谈ノ結果ナリトテ報告スル所ニヨレハ交通銀行ニテハ兌換開始ハ後日ノ問題トシ差向キヲ為替資金及交通紙幣ノ相場回復ニ充當スル為メ是非四百万円ヲ必要トシ且右ハ曹及陸ノ説明ニ依リ相当根拠アルモノト認メラル、ニ付同人ヨリ大藏大臣ニ向ツテ支那側ニテ四百万円ヲ希望シ居ル旨竝同人ノ意見ニテハ担保確實ナル場合ニハ利子年八分期限三年トシ且ツ日本側ヨリ顧問ヲ傭ヒ(給料ハ将来統借ヲ為ス迄日本側ノ負担トスルコト)其意見ニヨリ銀行事務ヲ行フノ条件ニテ至急成立セシムルコト然ルヘキ旨電報シタル趣ナリ

本使ノ觀察スル所ニヨレバ且下交通銀行關係者ニ於テ徐世昌、段祺瑞等トモ氣脈ヲ通シ交通總長ヲ出抜キ本邦側ト借款關係ヲ結ハンコトニ腐心シ居ルモノノ如ク且金額ヲ四百万円トナシタキコトハ先般河野ニモ洩ラシタル趣ナレバ此際我方ニ於テ四百万円迄融通スルコトトシ利子ハ既ニ河野ヨリ貴電第五〇一號ニ基キ七分ト言明シタル關係モアリ矢張七分トシ期限ハ結局三年ニ讓歩スルコトトシ查察員一名

張ハ政府ト關係ナク個人トシテノ資格ニシテ同人ト交通銀行トノ關係ハ前回同人カ貴地ニ到リタル際既ニ内談ヲ開始シ居タルカ如シト云フ今回西原ヨリ大藏大臣ニ宛テ貴電ト同様ノ趣旨私電シ来リタルヲ以テ同大臣ハ本件ニ付テハ從來ノ河野關係モアレバ貴地ニテ相談ヲ纏メ貴官ヲ經テ公然申越スヘシトノ趣旨ヲ返電シ置キタル趣ナリ從テ本件交渉ハ依然河野ヲ經テ取計ヲハシメラルコト貴見ノ通りニテ差支ナシ就テハ借款金額四百万円期限三年トシ又查察員等ノ給料ヲ或時期迄本邦側持トシテ差支ナキニ付其代リ利子ハ年八分トスルコトニテ交渉ヲ進メシメラル様致度シ

五二九 十二月二十七日 市来大藏次官ヨリ
幣原外務次官宛

交通銀行借款交渉ニ関スル中国財政部勤務常
吉調査委員報告書写送付ノ件

附屬書 十二月十四日付右報告書写

秘乙第二五八〇号 (十二月二十八日接受)

支那財政部勤務常吉調査委員ヨリ別紙ノ通り報告有之候ニ付御参考迄ニ右写及御送付候也

大正五年十二月二十七日

助手二名ノ給料ハ西原意見ノ如ク日本側ニテ負担スルコトニ折合担保ノ相当ナル以上急速話ヲ纏ムルコト得策ナルヘシト思料ス至急何分ノ義御電訓ヲ請フ尚西原来京シタルニ拘ハラス本交渉ハ從來ノ關係モアリ引続河野ヲ經取計ハシムル考ニ付御含置ノ上大藏大臣ニモ然ルヘク御相談ヲ請フ將又西原カ東京ニ於テ章公使トノ間ニ本件商議ヲナシ尚今回当地ニ於テ曹陸等ト会见シ其結果ヲ直接大藏大臣ニ電報シ指揮ヲ請ヒ居ル事實ニ徴スルモ同人ハ大藏大臣及其他關係ノ向ト打合ノ上本件ヲモ其用向ノ一トシテ当地ニ来リタルモノト認メラル、処西原ノ本件ニ對スル關係及同人渡来ニ関シ今日迄貴方ヨリ何等本使ニ御通知ナカリシハ意外トスル所ナリ

五二八 十二月二十七日 本野外務大臣ヨリ
在中国林公使宛(電報)

交通銀行借款交渉ハ從前ノ如ク大倉組河野ヲ
シテ行ハシムベキ旨及金額利率等指示ノ件

第五五一号

貴電第一一七二号ニ関シ西原渡支ノ件ハ当方ニ於テモ承知スル所ナカリシニ依リ大藏大臣ニ聞合タル処西原ノ貴地出

大藏次官 市来 乙 彦

外務次官 幣原喜重郎殿

(附屬書)

交通銀行借款交渉ニ関スル中国財政部勤務常吉調査委員報告
書

写

第十三号 十二月十四日

交通銀行借款

本件ハ曹汝霖氏渡日ノ機会ヲ利用シテ協議スル筈ナリシ由ナルモ曹氏ノ渡日ハ中止トナリ且ツ公務ノ一方斯カル協議ハ覺束ナシトノ理由ヨリ大倉組ノ河野君カ協議ニ当ルコトトナリ資本ハ興業銀行ヨリ二百万円ヲ貸与スル企画ナル由、現在支那ニテ不評判(上下ヲ恐レシメツツアル)正金ヲ出サス又小田切氏カ協議ノ任ニ当ルコトヲ避ケラレタルハ可ナルモ大倉組ノ河野君カ直接協議ノ任ニ当ルコトハ其専門の方面全然異ナルト及先ニ交渉セル自家別交渉中ノ問題ト混同シ予期ノ成績ヲ挙げ得サルカ或ハ遅延シテ時機ヲ失スルニ至ルカ如キ恐ナキカヲ憂フルモノナリ但シ方針既ニ斯ノ如ク定マリタリトスレバ先第一ノ問題ハ先ニ屢々報

六 对中国借款關係雜件 (二) 五三〇

告セルカ如ク速ニ本行借款優先権ヲ獲得セサルヘカラサルコトトナリ到底二百万円ニテ如何トモ為スコト能ハサルカ故ニ第二ノ借款問題ヲ生スヘキコト明ニシテ合辦ノ確実ナル契約ハ其際ニ行フヘク差当リ双方ノ了解アルトキハ満足スヘシ但シ本借款ニ政府ノ保証アルカ又ハ担保(公債ニテモ可ナリ)ヲ提供セシムヘキコトハ必要ナリ

常 吉 得 寿

五三〇 十二月二十八日

在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

交通銀行借款ニ関シ西原龜三曹汝霖陸宗輿間

ニ商議ノ結果ニ付請訓ノ件

別 電 同日在中国林公使宛本野外務大臣宛電報第一一八二號

中国側ノ交通銀行借款条件案

第一一八二號

交通銀行借款ニ関シ其後西原ヨリ曹汝霖陸宗輿ト商議ノ結果先方ニ於テ交通銀行協理トモ相談ノ上二十八日大体別電第一一八二號ノ条件ニテ折合タキ旨申出尚左ノ通説明シタル趣ナリ

尚河野ニ対シテハ本使ヨリモ然ルヘク口添スル筈

(別 電)

十二月二十八日在中国林公使宛本野外務大臣宛電報第一一八二號

中国側ノ交通銀行借款条件

第一一八二號

債権者興業銀行及朝鮮銀行、債務者交通銀行、金額日本金貨五百万円(無手数料)担保国庫債券二百萬兩同六十八萬元隴海鐵道債券百三十萬元財政部借款約二百萬兩、利子年七分五厘(每半期前払)、期限三年、交通銀行ハ本借款期限内債権者ノ推薦スル顧問一名ヲ傭聘シ報酬年額一萬円ヲ給スルコト、債権者ハ交通銀行整理案確定次第其ノ所要資金ニ対シ第二次借款ノ需メニ応スルコト、本借款ハ上海ニ於テ其受渡日ノ日本為替相場ニ依リ台湾銀行上海支店ニテ交付スルコト、

以上

五三一 十二月三十日

大蔵省神野勝之助ヨリ
小幡政務局長宛

交通銀行借款契約案ニ付大蔵省々議決定ニ関

スル件

附屬書 右省議決定

六 对中国借款關係雜件 (二) 五三一 五三二

四七四

(一) 差向キ所要金額ハ銀四百萬元ニ付日本金貨ナレバ是非五百万円ヲ要ス前電ニ四百万円トナセルハ西原ノ誤解ニ基ク

(二) 交通銀行ノ所有スル隴海鐵道債券ハ百三十萬元ニ過ギズ(三) 利子ハ日本側提案通り七分ヲ希望スルモ日本側ノ事情ヲモ諒シ七分五厘ナレバ同意スヘシ

(四) 顧問ハ差向キ一名ニ止メ且其権限ニ付テハ何等契約面ニ記載セサルコトヲ希望ス報酬ハ協理ノ俸給トノ鈞合上尅万円迄ハ支給スヘシ尚將來必要ニ応シ補助員ヲ傭聘スル積ナリ

右ニ関シ西原ハ担保ニ付テハ尚十分吟味スヘキモ其他ノ条件ニ付テハ今回申出以上ニ支那側ヲシテ譲歩セシメ得ヘキ見込ナキニ付東京關係者ニ於テ異存ナクバ同人ノ名義ヲ以テ直ニ仮契約ヲ締結シ河野ニ引渡シタキ希望ヲ有シ居レリ以上ハ交通銀行側ト西原トノ商議ノ結果ナルカ実ハ往電第一一七二號發送後銀行側ニ於テ急キ居ル為貴電第五五一號(二十八日着)御回訓ヲ待タズ本使ノ認諾ヲ得テ同人ニ於テ商議ヲ進メタルモノニテ協定ノ次第ハ本使ニ於テモ同意ナルニ付其筋ト御協議ノ上至急何分ノ電訓ヲ請フ

拝啓陳者十二月二十九日附貴翰拜誦候交通銀行借款ノ件ニ関シテハ本日關係銀行ト協議ノ上別紙ノ通り省議決定致シ候間可然林公使ニ御電命被成下度願上候 敬具

大正五年十二月三十日

神野勝之助

小幡政務局長殿

(附屬書)

大蔵省々議決定

林公使來電第一一八二號ノ通りニテ異議無之但債権者ニ台湾銀行ヲ加ヘルコト

仮契約全文ヲ一応林公使ヨリ電報セラレ債権者ニ於テ之ヲ承認ノ上林公使ノ監督ノ下ニ西原ト支那側ト仮契約ヲ締結シ直ニ河野ニ引繼クコトニ致度西原ト河野トノ關係ニ付テハ円満ヲ欠クコトナキ様林公使ニ於テ可然取計ハレ度キコト

日本興業銀行ハ直チニ代表者ヲ北京ニ派遣シ日本曆一月二十日迄ニ本契約ヲ締結スヘシ

五三二 十二月三十日

本野外務大臣ヨリ
在中国林公使宛(電報)

四七五

中国側申出ノ条件ニテ交通銀行借款交渉取纏

メ方訓令ノ件

第五六二号 至急

貴電第一一八二号ノ件貴電通りニテ異議無キニ付至急話ヲ纏メラレ度但シ(一)債権者ニ台湾銀行ヲ加フルコト(二)仮契約全文ヲ一応貴官ヨリ電報セラレ債権者ニ於テ之ヲ承認ノ上貴官ノ監督ノ下ニ西原ト支那側トノ間ニ仮契約ヲ締結シ直チニ河野ニ引繼クコトト致度西原ト河野トノ關係ニツイテハ円満ヲ欠クコトナキ様貴官ニ於テ可然御取計相煩シタシ、日本興業銀行ハ直チニ代表者ヲ貴地ニ派遣シ日本曆七月二十日迄ニ本契約ヲ締結スルコトトナス筈ニ付右御含アリ度シ

五三三 十二月三十日

在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

交通銀行借款契約至急調印ノ希望等ニ付曹汝霖ノ談話報告ノ件

第一一九六号

廿八日曹汝霖出淵來訪ノ際今回ノ交通銀行借款ハ北洋派側ニ於ケル先ツ經濟的方面ヨリ日本ト提携セントノ考案ニ出

交通銀行ノ件

右借款交渉ハ過去数ヶ月間弊社員河野久太郎北京ニ滞在致シ林公使ノ御指図ヲ受ケ之ニ當リ候処過日來在東京支那公使ヘ何カ申入候者モ有之又北京ニテモ別ニ此件ニ付支那側ニ相談致居候者モ有之哉ニ被察候此別働ヲナス向ハ貴省及大藏省ニ於テ御承知ノコトニハ無之ト存候得共当事者タル河野ニ於テハ甚ダ困難ノ地ニ立ツコトト相成候ニ付從來通り河野ニ於テ交渉ノ局ニ當リ可申御存意御變更無之候ハバ何卒御關係ノ各方面ニ於テ此儀充分含ミ置カレ候様致度今朝參上仕候得共御不在ニ付書中申上候
本年中ハ諸事御厚配ヲ蒙リ奉深謝候尚明年モ宜敷御高底ノ程奉懇願候 敬具

三 広東省セメント廠借款

五三五 七月十五日

在広東赤塚總領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

竜光台湾銀行へ百万円ノ借款申込ノ件

第一九五号

六 对中国借款關係雜件 (三) 五三四 五三五 五三六

デタルモノニテ契約成立ノ上ハ外交部ヨリ日本公使館ニ照会スル等ノ形式ニテ中央政府ニ於テ承認スルコトトナス可キニ付日本側ニテ担保其他ニ関シ六ヶ敷条件ヲ提出スルコトナク速ニ調印ヲ見ルニ至ランコトヲ希望スル旨并ニ同人ハ追テ交通銀行總理ニナルコトニ内定シ居ル趣ヲ述ヘ尚極秘トシテ陸宗輿ハ徐世昌、段祺瑞等ノ内命ヲ帶ヒ支那ノ(不明)日本当局ノ意嚮ヲ探ル為一月中旬全然個人ノ資格ニテ東京ニ赴キ其節日支兩國合辦ニテ実業銀行ヲ組織スルノ計画(往電第一〇八八号参照)ヲモ齎ラス積ナリト内話セル由ナリ總理大臣大藏大臣限リノ含迄ニ御内報アリ度シ

五三四 十二月三十日

門野大倉組頭取ヨリ
小幡政務局長宛

交通銀行借款交渉ニ付テハ大倉組河野以外ノ者ノ別働ヲ認メザル様申出ノ件

大正五年十二月三十日

大倉組 門野 副頭取

外務省

小幡政務局長殿

謹啓益々御清穆奉慶賀候

竜光ハ本日其ノ部下ヲ当地台湾銀行ヘ遣ハシ本月十三日附國務院ヨリ竜光宛左ノ通ノ電報ヲ示シテ百万円ノ借款ヲ申込ミタルカ同支店長ハ從來ノ行懸上言下ニ之ヲ拒絕スルヲ不便トシ兎ニ角本店ニ掛合フヘキ旨ヲ答ヘテ引取ラシメタル趣ナリ

以下右電報ノ訳文

屢々軍餉難屈ノ状況ヲ電請シ來レル処中央ノ財政モ同様困難且為換送金ノ不便アリ只此後軍餉統カサレハ軍心離レ意外ノ事變ヲ生スル憂アリ深ク懸念ニ堪ヘサル次第第二付財政部ニ諮リ速ニ籌辦セシムル外便宜其ノ地方ノ銀行ヨリ借款シ急要ニ充テ尚其ノ詳細ナル数ヲ財政部ニ報告シ財政部ヨリ之ヲ整理スル様セラレタシ
公使、上海、肇慶ヘ電報セリ

五三六 七月十五日

青木陸軍中將ヨリ
上原參謀總長宛(電報)

広東將軍府ノ借款申込及段祺瑞ノ三井ヨリ武器購入申込ニ関シ報告ノ件

(七月十七日外務省接受)

青木 中將